

上尾市立今泉小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

生き生きと活動する心豊かな子どもの育成

○まなぶ子【知】○思いやりのある子【徳】○たかましい子【体】

学校課題研究主題

「持続可能な未来を創るSDGsの視点を取り入れた教育の実践」

～2030年への挑戦 自ら考え、主体的に行動を起こす今っ子の育成～

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
- 国語においては記述式の問題の正答率が全国の正答率を2ポイント、理科も5ポイント程上回っている。算数においては全国・県の正答率を下回っている。 - 国語、算数、理科ともに正答率は全国・県平均と同程度であった。	- 全学年、国語と算数ともに、学力レベルが県と比較して1段階以上高い水準である。 - 国語、算数ともに学力を伸ばした児童の割合は埼玉県の平均を上回っている。 - 全学年、学習方略の作業方略と認知能力の項目の数値が埼玉県と比較して同等か低い。	- 全学年国語に伸びが見られ、標準スコアが上がった。算数では、第4学年の活用について8.6ポイント伸びが見られたが、他の学年は目標と同等か下回った。 - 第5学年の国語では主体的に学習に取り組む態度が、算数では知識・技能、思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度が下回った。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①一般的・専門的な語彙力 ②既習事項を生かして問題解決を行う力	③内容を理解する読解力 ④根拠をもって説明する力 ⑤自分の考えを他者に発信する力	⑥粘り強く取り組む力 ⑦疑問をもち新たな問題を見出す力 ⑧見通しを立てたり振り返ったりする力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
「読み、書き、計算」等の基礎・基本の徹底や、意味調べや意見文を書く活動を通して語彙を豊かにする活動に取り組ませるとともに、学習用語等を確実に理解させるよう指導事項を明確にして授業に臨む。	児童が主体的に学べる学習活動（言語活動、観察・実験、問題解決的な学習など）を展開するとともに、基礎的な知識・技能をもとに考え、発信する学習場面を単元計画に位置付ける。	各単元や毎時間の学習課題と到達度を明確にし、見通しをもたせ、客観的に振り返ることがができる授業を日常的に行うとともに、児童が生き生きと活動できるよう単元計画を立てる。

本校の特色ある取組

- ・中学年以上での教科担任制。
- ・学年ごとに道徳ノートの活用。
- ・年に一度、道徳の授業を保護公開。
- ・授業に対する振り返り。（今っ子の振り返り）
- ・クラスルームイングリッシュの掲示及び配付。
- ・ALTの給食時における教室訪問及びコミュニケーションについての取組。
- ・学校課題研究にあわせて、全学年でSDGsの視点を取り入れた教育の推進。
- ・3年生以上では、「総合的な学習の時間」の学習でまとめたことを放送で発信、各学級で給食の時間等にSDGsに関する動画視聴。家庭への啓発。
- ・主要教科以外の、随時授業公開。

家庭教育との連携

- ・連絡を密にとり、学校生活をとおして気が付いたことの共有と必要に応じての面談。
- ・家庭学習への取り組み方と環境整備。
- ・家庭学習に取り組む上でのポイントを示すことでの、習慣化の取組。